

SID R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第2巻第21号

第21週(5月20日～5月26日)

発行年月日:平成14年(2002年)6月4日

発行:滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (21週)	累積報告数 (1週～21週)	平成13年 報告数
1類感染症	報告なし	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	4	4
	パラチフス	0	1	0
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	1	44
4類感染症	アメーバ赤痢	0	4	5
	急性ウイルス性肝炎	0	0	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	2
	後天性免疫不全症候群	0	1	6
	ジアルジア症	0	0	1
	ツツガムシ病	0	0	2
	梅毒	0	3	6
	レジオネラ症	0	0	1

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数		
	21週	増減	15週～20週
インフルエンザ	0.02		0.40
咽頭結膜熱	1.28		0.20
A群溶連菌咽頭炎	0.97		0.31
感染性胃腸炎	5.47		4.02
水痘	3.47		2.39
手足口病	0.09		0.05
伝染性紅斑	0.44		0.42
突発性発疹	0.69		0.54
百日咳	0		0
風疹	0		0.02
ヘルパンギーナ	0.09		0.10
麻疹	0.22		0.22
流行性耳下腺炎	1.03		0.97
急性出血性結膜炎	0.14		0.02
流行性角結膜炎	1.14		0.50
急性脳炎	0		0
細菌性髄膜炎	0		0.02
無菌性髄膜炎	0.14		0.12
マイコプラズマ肺炎	0.57		0.36
クラミジア肺炎	0		0
成人麻疹	0		0

* 増減は、平成14年15週～20週の平均に対する今週との比較
増加 減少 変化なし

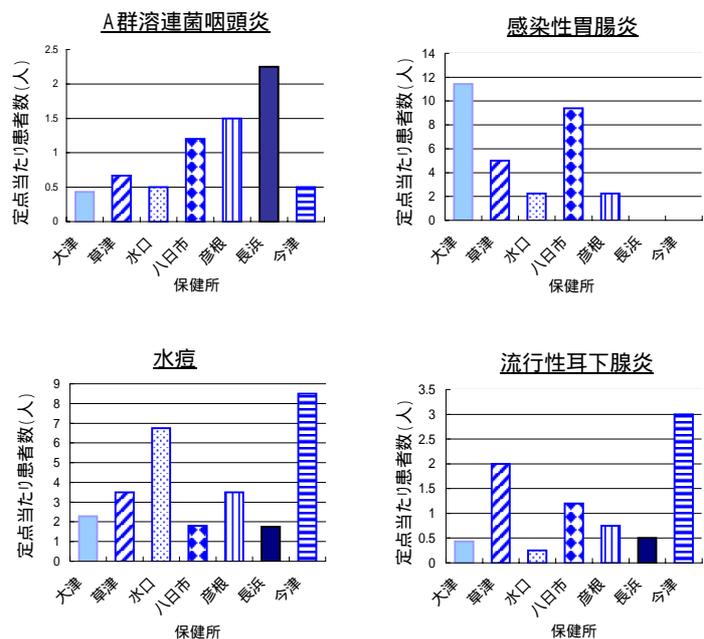
* 太字は、今週の注目される疾患です。

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**において公表されています。
(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

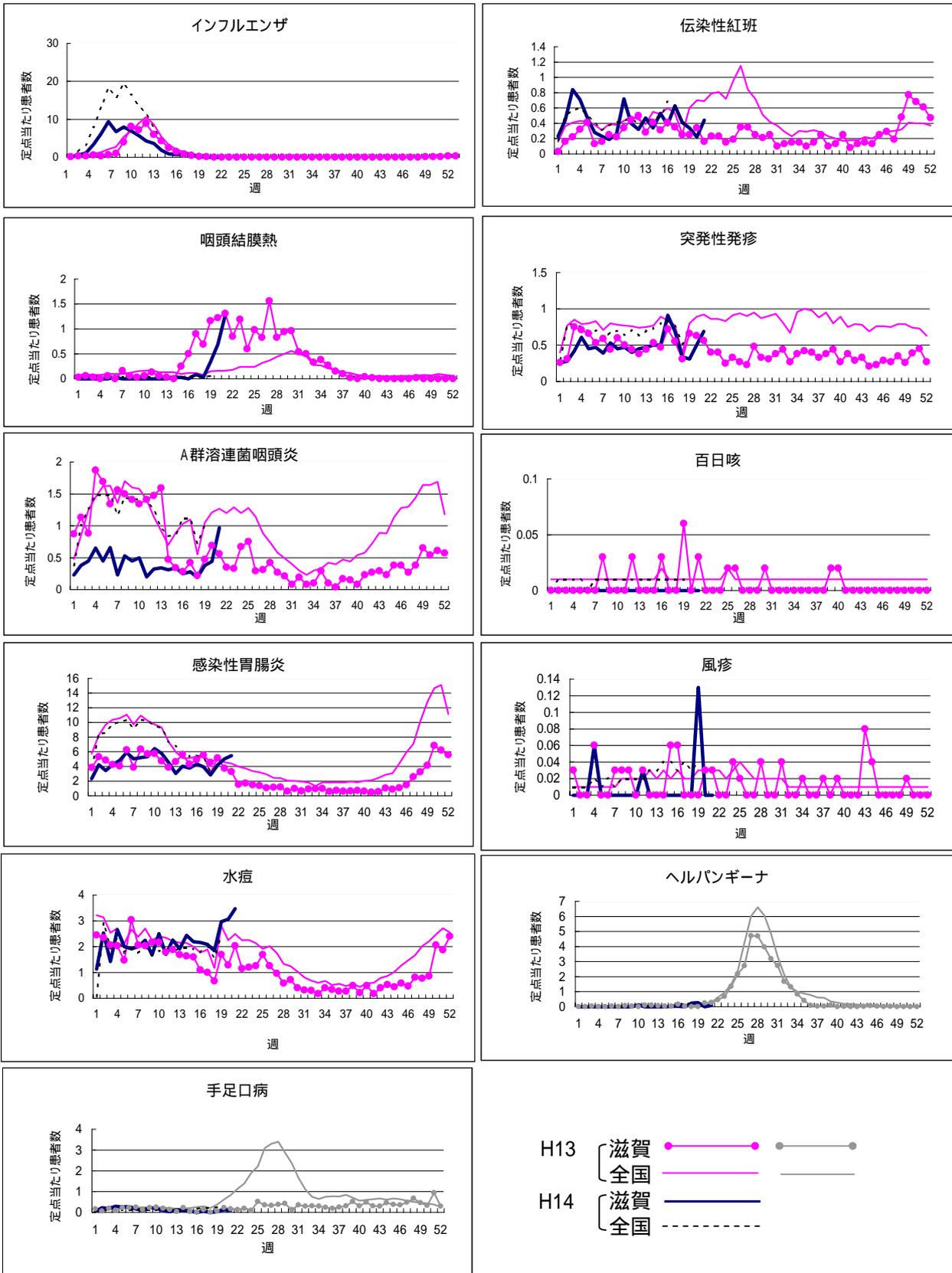
3) 今週のトピックス

4類感染症(定点把握対象)の増加傾向は持続

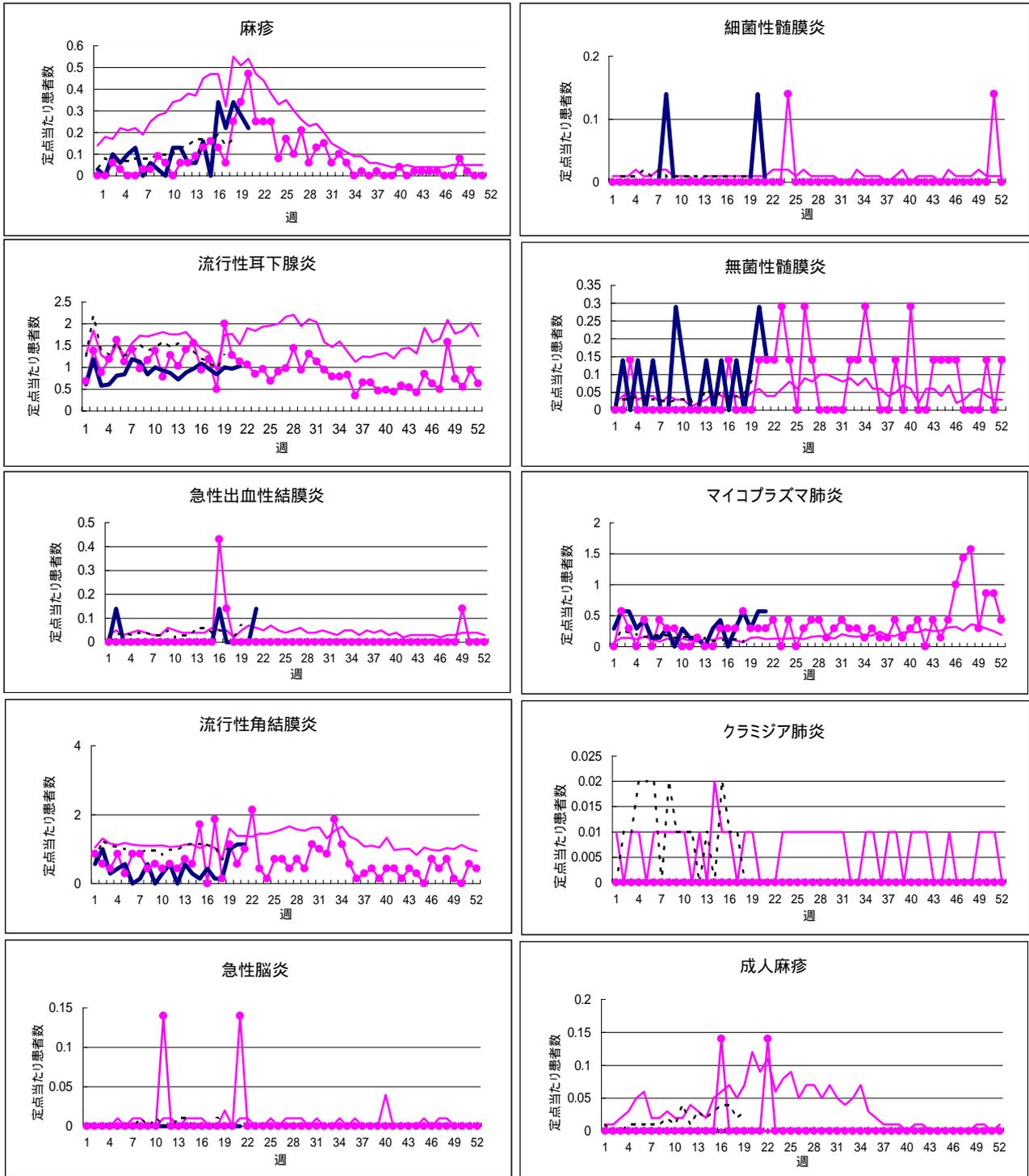
滋賀県における定点当たり患者数について、平成14年15週～20週の平均と平成14年の21週を比較すると、先週と同様に今週も増加傾向を示す感染症が多く見られます。特に咽頭結膜熱の定点当たり患者数は、大津保健所管内で5.57と高くなっており、麻疹についても草津保健所管内で1.00となっています。なお、咽頭結膜熱の年齢別の患者報告数は1～7歳で40人、20歳以上で1人となっています。また、上記の疾患以外で増加を示しているA群溶連菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘および流行性耳下腺炎の保健所別発生状況は下記のグラフのとおりです。



疾病別定点当たり患者数(平成14年第1週～第21週)



疾病別定点当たり患者数(平成14年第1週～第21週)



H13 〔 滋賀 ●——●
 全国 ————
 H14 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -